

第43回 全国高等学校選抜ホッケー大会



社団法人
日本ホッケー協会
Japan Hockey Association

開催日時 3 月 26 日 (月) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合 女子 準々決勝 9:30	伊万里商業高校	1	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -3 \end{pmatrix}$	4	天理高校
第2試合 女子 準々決勝 11:20	岐阜各務野高校	3	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$	0	丹生高校
第3試合 男子 準々決勝 13:10	石動高校	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	2	岐阜総合学園高校
第4試合 男子 準々決勝 15:00	岐阜各務野高校	1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$	1	天理高校
PS 5-3					

< Bコート >

第1試合 女子 準々決勝 9:30	伊吹高校	1	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	0	米沢商業高校
第2試合 女子 準々決勝 11:20	玄界高校	1	$\begin{pmatrix} 1 & -4 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	5	羽衣学園高校
第3試合 男子 準々決勝 13:10	伊吹高校	10	$\begin{pmatrix} 6 & -0 \\ 4 & -0 \end{pmatrix}$	0	清水国際高校
第4試合 男子 準々決勝 15:00	横田高校	5	$\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 3 & -4 \end{pmatrix}$	5	山梨学院大附属高校
PS 6-7					

【各試合の結果・詳細】

Aコート 女子 第1試合

伊万里商業高校 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 3 \end{pmatrix}$ 4 天理高校

<得点>

伊万里商業 : 43分 池田
天理 : 1分 52分 柳本、61分 武田、65分 藤富

<戦評>

天理のセンターパスにより前半戦が開始された。1分、天理#8柳本のリバースシュートにより、1点を先制した。その後、一進一退の攻防が続く中で、天理は4本のPCを取得するが、伊万里の堅い守備により得点には結びつかず、1対0で前半戦が終了した。
後半戦に入り、伊万里はPCなどのチャンスを作り反撃を試みる。43分#10池田がダイレクトシュートを決め、同点になった。両チームの攻防が続く中、52分天理#8柳本がキーパー前のパスを押し込み、さらに61分#11武田、また、65分#3藤富が追加点を挙げ、4対1で試合は終了した。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	アンパイア	為国 壮
ジャッジ	苦米地 村太		石橋 徹也

Aコート 女子 第2試合

岐阜各務野高校 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 丹生高校

<得点>

岐阜各務野 : 19分 69分 永井、39分 竹市
丹生 :

<戦評>

丹生のセンターパスにより前半戦が開始された。どちらも一歩もゆずらない、攻守の入れ替わりが激しい試合となる。各務野#9羽田がプッシュシュートを放つも、丹生のGK#1西川にセーブされ、0-0のまま試合は進む。その後、各務野押し気味の試合となるが、丹生のかたい守りで決める事が出来ない。試合は動いたのは、19分、各務野がPCを取得。#5永井の力強いシュートで先制。その後、丹生も反撃を見せるが得点できず、1-0のまま前半戦は終了した。
後半戦が始まり、丹生は守りからの速攻で#4土井がドリブル突破し、チャンスを作るも、得点にはつながらない。39分右からのセンターリングを各務野#10竹市がタッチで左サイドにあわせ、2-0となる。その後各務野#15山月が右からの打ち込みボールを飛び込んでタッチするが、追加点にはならない。丹生#10三谷がサークル内でパスをうけると、プッシュでシュートを狙うが、各務野GK#1井戸田にセーブされ、得点にはならない。57分各務野#7田村にグリーンカードをかされた直後、58分、丹生はPCを取得。リバウンドを#2キャプテン中村がスイープで上を狙うが、ポストにあたり、得点にならず。69分、各務野#5永井が左からヒットシュートで右サイドに決め、このまま押しきり、3-0で各務野が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	久保木 学
ジャッジ	野澤 光代		我妻 順子

Aコート 男子 第3試合

石動高校 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 岐阜総合学園高校

<得点>

石動 :
岐阜総合学園 : 43分 小林、58分 三島

<戦評>

岐阜総合のセンターパにより前半戦が開始された。中盤でのボールの奪い合いから互いにゴールを目指す、なかなかチャンスを作ることができないまま進んだ。やや優勢に試合を進める岐阜総合は、PCのチャンスで攻勢に出るが、石動の堅い守備により、得点にならない。0-0のまま前半戦が終了した。後半が始まり、43分岐阜総合#9小林が味方のパスをスイープで押し込んだ。その後、石動も攻撃するが、岐阜総合の堅い守備により得点することができない。岐阜総合#4中山がドリブルで持ち込みブツシュートを放つも、石動#1高橋がセーブ。その直後、岐阜総合は58分PCを取得。#2伊藤からの打ち込みを#8三島がタッチシュートし、2-0となり、さらに点差を広げた。石動も点を決めようとラスト1分#10松本がスイープシュートを打つも岐阜総合GK#1柳原にセーブされ、そのまま岐阜総合が守りきり、2-0で岐阜総合が勝利した。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	アンパイア	森本 道理
ジャッジ	苦米地 村太		成田 健一

Aコート 男子 第4試合

岐阜各務野高校 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 天理高校
PS 5-3

<得点>

岐阜各務野 : 38分 山田
天理 : 68分 谷光

<戦評>

各務野のセンターパスにより試合が開始された。各務野はパスがつながり、再三のシュートチャンスを得たが、わずかにゴールを外すなど、なかなかチャンスをものにすることができない。天理はカウンターを狙い、攻め入るが、チャンスを作ることができず得点には結びつかなかった。結局各務野は4本目のPCを取得したが天理の堅いディフェンスに阻まれ得点に結びつかず、0-0のまま前半戦は終了した。後半戦が始まり、38分各務野の右サイドよりオーバーラップした#2松波からのセンターリングに#6山田がゴール前に走り込み華麗なタッチシュートを右上に決め、先制点を挙げる。その後、両者一歩も引かない攻防の中、得点が欲しい天理が果敢に攻撃を仕掛ける。65分、天理がPCを取得し決定的なチャンスを作るも各務野のGK島崎の好セーブと粘り強いDFにより得点できない。このまま各務野が逃げ切るかと思われた68分、速攻から天理がPCを取得。#2谷光が豪快なドラックフリックシュートを右上に決め執念で同点に追いつく。そのまま試合が終了し、PS戦へと持ち込まれ5-3で各務野が勝利し、準決勝へ進出した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	松村 満
ジャッジ	野澤 光代		石橋 徹也

Bコート 女子 第1試合

伊吹高校 1 $\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$ 0 米沢商業高校

<得点>

伊吹 : 3分 中尾

米沢商業 :

<戦評>

米沢商業のセンターパスにより試合が開始された。まずチャンスを作ったのは伊吹。サークル内でパスをうけた#9川合がシュートを放つも米商GK#1青木にはばまれる。しかしそのリバウンドに#5中尾が反応し、先制点をあげる。その後も伊吹ペースで試合は進み、8分、12分、13分、22分、24分と立て続けにPCを得るも米商#3松田の好セーブが連発し、追加点をあげることができない。米商もカウンターからチャンスを作るも決定力を欠き、追いつくことができないまま1-0で前半戦が終了した。

後半開始早々36分に伊吹はPCを得るがチャンスをものにすることができず追加点とはならない。同点に追いつきたい米商は46分、56分とPCを得るが得点をあげることができなかった。その後は一進一退の攻防が続き硬直状態となる。両チーム互いに積極的に攻め込むもチャンスを作ることができず試合が終了し、1-0で伊吹が勝利をおさめた。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	妹背 修治		谷川 昌子

Bコート 女子 第2試合

玄界高校 1 $\begin{pmatrix} 1 & - 4 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$ 5 羽衣学園高校

<得点>

玄界 : 8分 井上

羽衣学園 : 2分 10分 27分 浅井、34分 河村、51分 塩入谷

<戦評>

玄界のセンターパスにより前半戦が開始される。試合開始直後の2分に羽衣が#11塩入谷からのパスを#5浅井が押し込み先制点を挙げる。

対する玄界も8分#9三船のヒットを#7井上がタッチシゲームを振出しにもどす。しかし、10分羽衣がPCを取得。#5浅井がヒットシュートを打ちすぐに追加点を挙げると、27分にもPCを取得。またも#5浅井が左下にヒットシュートを決め点差を広げる。さらに、34分には#7植村からのセンターリングを#9河村がタッチシュートを決め、前半を4対1で折り返す。

後半は羽衣ペースで試合が進むものの玄界のGK#1下田を中心とした粘り強い守備をみせ得点を許さない。均衡した試合の中、51分羽衣がPCを取得しチャンスを得ると#5浅井のスweepパスを#11塩入谷が落ち着いて決めさらに点差を広げた。得点の欲しい玄界は果敢に攻め上がるもチャンスを作る事ができず、そのまま試合終了。5対1で羽衣が勝利した。

テクニカルオフィサー	草野 妥彦	アンパイア	宇井 理恵
ジャッジ	境山 博之		喜多 正司

Bコート 男子 第3試合

伊吹高校 10 $\left(\begin{array}{cc} 6 & - 0 \\ 4 & - 0 \end{array} \right)$ 0 清水国際高校

<得点>

伊吹 : 11分 宮口、12分 山田、14分 瀬川太、25分 大橋、27分 山水、31分 瀬川裕
41分 瀬川智、49分 吉川、57分 和田、64分 植村

清水国際 :

<戦評>

伊吹のセンターパスにより、前半戦が開始された。伊吹のペースで試合が進む中、11分にPCを取得し、#7山田のパスを#14宮口があわせ、先制点を挙げる。勢いに乗った伊吹は、12分にもPCを取得し、#7山田のドラックシュートで追加点を挙げる。その後も伊吹の勢いは衰えることなく、4点を挙げる6-0とする。一方、清水国際もカウンターから反撃を試みるも決定力を欠き、決めることができないまま、伊吹がリードして前半を折り返した。

後半に入っても伊吹は優位に試合を進める。41分にPCをから、#8山水のヒットを#6瀬川がタッチし追加点をあげる。その後も49分にPCで#15吉川がドラックを決め、57分には#8山水のパスを#12和田が落ちて決めて、着実に得点を重ねていく。一方、清水国際もPCを取るが、点を挙げることができない。結局さらに2点を追加した伊吹が清水国際の反撃を押さえ、10-0で伊吹がベスト4入りをした。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	竹内 高広
ジャッジ	妹背 修治		重森 誠

Bコート 男子 第4試合

横田高校 5 $\left(\begin{array}{cc} 2 & - 1 \\ 3 & - 4 \end{array} \right)$ 5 山梨学院大附属高校

PS 6-7

<得点>

横田 : 3分 堀尾、6分 36分 糸原、46分 伊藤、59分 三島
山梨学院大 : 5分 40分 石川、41分 中澤、44分 向山、58分 内田

<戦評>

山梨のセンターパスにより試合が開始された。開始直後の2分、横田がPCを取得し、#5堀尾のドラックフリックシュートで先制する。対する山梨も4分、PCのリバウンドから#8石川が押し込み、同点とする。しかし、横田も6分に#11福田の右サイドから回り込みに#7和久利が合わせ一点を返す。その後、山梨もPCを4本立て続けに取るが、横田の堅いDFに追加点を挙げる事ができないまま前半を2-1で折り返す。

後半が開始され、横田が36分、#11福田からのスクープパスを#10糸原が受けDFをかわし、落ち着いてシュートを決め、点差を広げるものの、山梨が40分に#8石川、41分#10中澤と立て続けに豪快なヒットシュートを決め同点に追いつく。さらに、44分にも山梨#5伊藤からのパスを#4向山がダイレクトシュートを決め逆転する。一方、横田も45分、46分と続けてPCを取得すると、息の合ったパスワークから#6伊藤がシュートを決め、同点とする。58分には山梨がPSを取得。#3内田が右上に決め勝ち越すかと思われたが、横田が59分にPCを取得。#2三島のスイープシュートを決め再び振出しに戻る。激しい点の取り合いの末、5-5でPS戦に持ち込まれる。PS戦でも5人で決まらずサドンデス戦の末7-6で山梨が勝ち、準決勝に進む。

テクニカルオフィサー	草野 妥彦	アンパイア	為国 壮
ジャッジ	境山 博之		松原 久

第43回 全国高等学校選抜ホッケー大会



明日の組み合わせ <Aコート>

第1試合 女子 準決勝 ----- 9:30	伊吹高校	(-) (-)	天理高校
第2試合 女子 準決勝 ----- 11:20	岐阜各務野高校	(-) (-)	羽衣学園高校
第3試合 男子 準決勝 ----- 13:10	岐阜総合高校	(-) (-)	伊吹高校
第4試合 男子 準決勝 ----- 15:00	山梨学院大附属高校	(-) (-)	岐阜各務野高校